

ダイテック情報紙

Yes! We Will.



ダイテック本社ビル（名古屋市中区）

紙面 Contents

- | | |
|----|--|
| 1面 | 電子入札システム WinSuite
「大いなるワリカン」 |
| 2面 | 当社 CAD ユーザー様の声
「大成設備株式会社」 |
| 3面 | ダイテック CAD 特集
・ CAPE2007SP3
・ Tf@S2007SP3 |
| 4面 | ひと息スペース～ BarDaitec |

電子入札システム WinSuite ASP ～大いなるワリカン～

年末年始は大人数で飲む機会も多かったのではないだろうか。そんな時、お会計はワリカンにすることが多い。実に合理的な会計システムだと思うのだが、このワリカンは日本が発祥。江戸時代の戯作者、山東京伝が考案したと言われている。彼は友人との飲み会の最中でも代金を計算していて、当時「京伝勘定」とも呼ばれたそうだ。私はてっきり、何でも合理的なことを至上とし、その会計基準が世界を席卷しているかの国の産とばかり思っていた。国産と聞いて考え直した。言われてみれば、大きな費用をみんなで少しずつ負担するところにもかすかな連帯感を感じる和の心に馴染む制度のようにも思えて来る。

弊社が電子入札システムをリリースして早5年になるが、リリース当初から ASP としてサービスを提供してきた。この ASP こそ、かの国で発達したものなのだが、その神髄はワリカンに通じる。

自治体ごとに電子入札システムの導入がすすめられるようになってほどなく、JACIC と SCOPE で開発されたコアシステムを採用することは、ほぼ当然の流れとなっていく。ただし、このコアシステムはその名のとおりシステムのコア部分であって、その上に使い勝手の良いアプリケーションを構築することは自治体ごとの作業となる。この時、自治体のご担当はシステム開発の見積書を見て一様に絶句した。「0 がひとつ多くないか」。残念ながら間違いではない。

システム開発は一声が億になる。一方、弊社からの ASP の提案書にも困惑される。「0 がひとつ少ないかい」。どうも、安かろう悪かろうと思われるらしく、説明には余計な苦勞がついて回った。そんな時、ワリカンの話をすると、ご担当には納得いただけることが多かった。

システムというのは一通り全ての機能が揃っていなければならない、しかもそれを稼働させるハードウェアも手配しなければならない。料理に例えるなら、とても一人では食べきれないフルコースのようなものだ。しかも、「予算が足りないので一品抜いて」という訳にはいかないのである。そんな時は、無理して一人で食べるより、みんなで分け合っ

てワリカンにしたほうがよい。ここで問題になりそうなのは、人それぞれで味の好みが違うということである。みんなで同じ料理を頼むのだから、その味をどうするか。実はこれは問題ではない。自分の好みを正確に料理人に伝えてオーダーするほうがよほど難しい。それより、万人の好みに合わせられる一級の料理人に任せてしまったほうが美味しいこともある。

料理は食べてしまえば無くなる。機械や建物は使うほどにすり減って価値が下がる。しかし、ソフトウェアは使うほどに良くなっていく。いろんなユーザに使われながら、どんどん改良が加えられていくので、ユーザが多い程システムの品質向上は早い。

電子入札システム WinSuite ASP は一つのシステムを日本中でワリカンにしようというものだ。しかも、みんなで意見を出し合っ

「部長、帰りに一杯どうですか?」「おっ、いいね。」「たまには奢ってくださいよ。」「..えっと、和の心とはだね..」

洗練された作図機能とリアルな 3 次元表示

PRODUCTS & REPORTS

設備現場を最適化 設備 CAD 最新進化形

CADWe'll Tf@S 2007 User



大成設備株式会社

設立●1965年／本社●東京都新宿区
URL●<http://www.taisei-setsubi.co.jp/>

Why Tf@S?

ユーザー様に伺いました

いまだかつてない衝撃 CADWe'll Tf@Sの登場

大成設備は、その社名からも分かる通り、大手ゼネコンの大成建設直系の総合設備会社である。「親譲り」の高度な技術力を基盤に広く全国へ展開している。そんな同社だけに、業務への CAD 導入も早く、1980 年代後半には専任のオペレーターによる CAD 室を設け、施工図を集中的に作成し始めていたという。当時を知る工務部の鈴木裕之氏は語る。「その後、技術者も CAD を使い始めましたが、当初はフリーソフトが多かったですね」。

そんな状況が変わったのは 2000 年頃のことだ。現場効率化の必要が高まり、施工図も技術者自身が描くようになったのである。そこで選ばれたのが「CADWe' 11 CAPE」だった。「忙しい技術者が使うには、とにかく簡単に覚えることができ、速く描けなければなりません」。その点で CADWe' 11 CAPE は圧倒的だった。マニュアルを読まなくても使え、慣れると作図効率はい前の数 10 倍にも達したのである。「フリーウェアの CAD で 10 分もかかった作業が、CAPE ならものの 1 分でできてしまう。信じられないほどの違いでした」。

それは技術者の多くに共通する驚きだった。たちまち CADWe' 11 CAPE は同社の現場を席卷。急速に導入本数を増やし、統一 CAD として着実に全社へ普及していったのである。だが数年後、1 本のまったく新しい設備 CAD が出現し、鈴木氏に大きな衝

撃を与えた。CADWe' 11 CAPE の後継製品となる、新統合設備である CAD「CADWe' 11 Tf@S」の登場だ。「見たのは 2006 年 11 月の発表会でした。ひと目で魅了されましたね。CAPE は優れた設備 CAD ですが、それでも弱点はあります。これができれば最高なのに……と思っていた、まさにその点を、Tf@S は見事にクリアしてたんです」。帰社した鈴木氏は即座に Tf@S の導入検討開始を提案したのである。

CADWe' 11 シリーズユーザーの 「こうなればいい」を全て実現

鈴木氏が感じた CADWe' 11 CAPE の弱点とは、例えば配水管の勾配だった。作図時にその勾配を付けてしまうと後で編集が難しくなるため、鈴木氏らは勾配を付けずに描き、レベルは別に手描きで入れていたのである。「Tf@S なら勾配が簡単に付けられ、編集も簡単です。しかも他にも多くの“こうなればいい”が実現されている。作図／編集機能全般が一段と洗練され、CADWe' 11 ユーザーにとってこれ以上ないくらい快適な作図環境になっていたのです」。

鈴木氏は他の技術者の協力も得て「CADWe' 11 Tf@S」を検証。多くから予想以上の好評を集めたが、特に目立ったのが 3 次元表示機能への期待である。「3 次元は当初プレゼン用とと思っていましたが、Tf@S は作図しながら 2D 図面をワンタッチで 3D 表示できる。つまり作図しながら 3 次元

で確認し、干渉チェックもできるんですね。しかも、コミュニケーションツールとしても非常に有効で、どんどん新しい使い方が出てくるんです」。例えば業者間の取合い確認や職人への作業説明などでの活用だ。中でも有効だったのは、設計事務所から上がってきた図面の「収まり」に問題があった場合の設計事務所側へのフィードバックである。「以前は平面／断面図で説明し修正を頼んでも、なかなか理解されませんでした。しかし Tf@S の 3 次元で見せると、即座に“しょうがない、直すよ”と言ってもらえます」。

このように 3 次元を幅広く活用できるのは Tf@S のデータが軽いからでもある。鈴木氏によれば、CAPE の 3 分の 2 以下の軽さでノート PC でも快適に動かせるのだと言う。このような検討結果を受けて、同社は CADWe' 11 Tf@S の導入を正式決定。2007 年春から全社へ本格的な普及を開始している。

「既に東京支店で 50 本、他支店で 40 本ほど入れました。操作系が CAPE と同じなので移行もスムーズですよ。乗り換えた意識せず乗り換えられるんです。若手から熟練者まで、全社に普及させたいですね！」

» User of this PRODUCTS



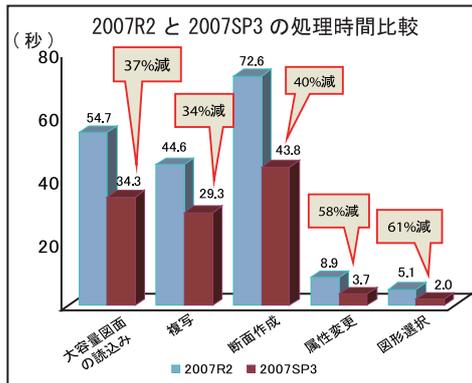
大成設備株式会社
東京支店
工務部計画・申請課
課長
鈴木裕之氏

建築設備業界向け CAD として圧倒的な支持を誇る「CADWe' 11 CAPE」が更にパワーアップ！サービスパックの公開が目前に迫りました（詳細は弊社 HP

をご覧ください。各種処理速度が飛躍的に改善され、より一層「サクサク」と軽快に作図できるようになりました（左図参照）。

また、約 130 項目の不具合対応も行っており、作業を中断する頻度が劇的に減少しました。

既に「CAPE2007」を導入済のお客様は、是非 SP3 にアップグレードし、よりパワフルになった CAPE の威力を体感してください。作図効率が向上すること間違いなしです！



例えば、20MB の圧縮形式図面を読み込む時間は、2007R2 では約 55 秒かかっていたのが、2007SP3 では約 34 秒で完了します。何と、1.6 倍もスピードが向上していますので、大容量の図面の編集もストレスなく開始することができます。

その他、図形複写・移動や断面作成、属性変更、図形選択等、多岐に亘る性能改善が行われています。

リリース目前!
CAPE2007SP3

ダイテック CAD 特集

～進化を続ける逸品～
Tf@S2007SP3
近日公開!

2次元で軽快な操作で作図しながら、ボタン1つで3次元表示ができる統合設備 CAD「CADWe' 11 Tf@S2007」の SP3 が、間もなく公開されます（詳細は弊社 HP をご覧ください）。サービスパックであるにも関わらず、以下に説明するような数々の機能改善が施されています。

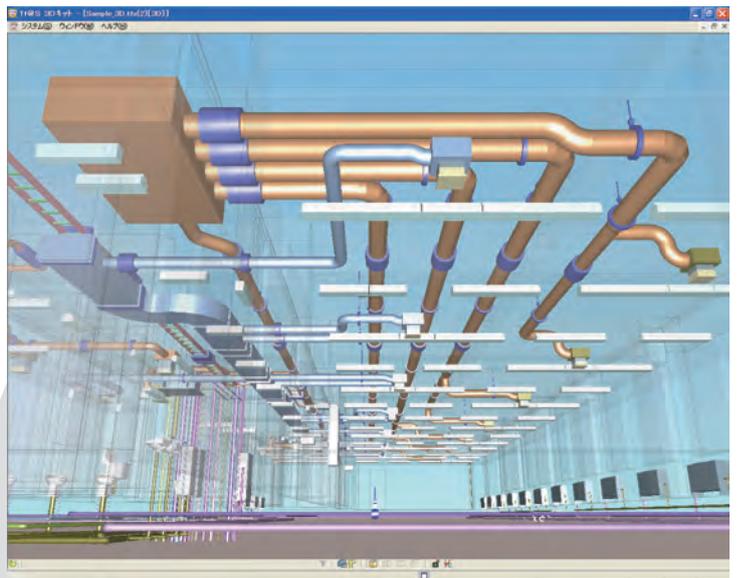
例えば図面互換では、AutoCAD2009 図面 (DWG2007 形式) および Jw_cad Ver6 の図面がインポート・エクスポート

できるようにになりました。これにより、大規模現場での図面運用がより一層スムーズに進むようになります。

その他、お客様からのニーズが高かった機能改善を多数行っています。

- ★ByLayer 属性を持つ図形を、見た目の属性で選択可能
- ★任意角度に傾けて印刷可能
- ★電気の部品置換において、部品検索時に置換する部品と同じ種類の部品ページを表示
- ★ルーティングでの次ピック対応
- ★フレキを丸ダクトに変更可能
- ★部材の一部の R 値だけを変更可能等々…

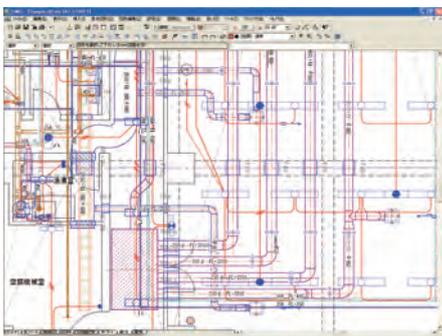
SP3 では勿論速度向上も行っており、トータル約 220 項目もの機能改善・不具合修正を行っています。これらは、



どれをとっても気の利いた「かゆいところに手が届く」ブラッシュアップで、より磨きのかかった製品に仕上がりました。

現在「CADWe' 11 Tf@S2007」をご使用中のお客様は、より進化した SP3 へグレードアップしていただき、その真価を実感していただきたいと思っております。

また、CAD 導入をご検討のお客様には、是非とも「CADWe' 11 Tf@S2007SP3」を採用候補の1つとしてご検討していただければ幸いです。



元バーテンダーの当社技術部社員が贈る…

Comfortable place

Bar Daitec



Rusty Nail



Blue Moon

会社を抜けると、そこには厳冬の季節が広がる。川端康成「雪国」は、実はとても日常な景色かもしれない。凍える指先をかばいながら、今日も足を運ぶ。人の景色を見渡せる、お気に入りの BarDaitec。さて今宵、描かれる景色は…

手前の席には壮齡の御仁が独り。スコッチベースの重厚なカクテル『ラストイネイル』を傾け、バーテンダーと二言三言。この席を境に世俗の喧騒が吸い込まれるような、落ち着いた空気を演出している。

奥には、静かに時を刻む男女の姿。御仁の空間と調和を生み、今日の BarDaitec を創る。おや？ 女性の手元にあるのは…『ブルームーン』ジンベースでスマイレの香る妖艶なカクテルだ。これは隠語で「できない相談」が込められている。どうやら、男性は敗戦の沈黙のようだ。

では、私は中央に座ろう。「マスター、いつものを」
「かしこまりました」

※本文中の BarDaitec は架空のお店ですが、それ以外は実在します。

情報紙「Yes! We Will」創刊のご挨拶

ダイテックのお客様向け情報紙を会社設立40周年を記念に創刊いたしました。その名も「Yes! We Will」と名付け、先駆的かつ発展的な情報をより多くの皆様に、お届けいたします。

「Yes! We Will」は、CADの最新動向やお客様の導入事例だけでなく「電子入札 WinSuite ASP」を初めとした CALS/EC 製品などの情報もお届けいたします。弊社製品をご利用いただいているお客様やこれから導入を検討されている皆様方のお役に立つことを念じて創刊のご挨拶とさせていただきます。

CAD 事業統括本部 本部長 森田 勝憲

編集後記

今回皆様にお届けした「Yes! We Will」のタイトルは、弊社の製品名にある CADWe'11 (キャドウィル) の「We'11」から連想しています。

2008年は株価暴落や内定取消、派遣労働者の大量解雇といった暗い話題も多い年でしたが、2009年は明るい話題が多くなるよう Yes! We Will.

ダイテック情報紙 Yes! We Will

[編集・発行] 株式会社 ダイテック
[創刊] 2009年1月21日



株式会社 **ダイテック**

〒140-0013

東京都品川区南大井 6-16-19 URL : <http://www.daitec.co.jp/> E-Mail : cad-setsubi@daitec.co.jp

北海道 011-222-9631

東北 022-225-0141

東京 03-5762-3511

中部 052-971-6624

関西 06-6965-4535

北陸 076-226-0470

中国 082-244-8501

四国 087-826-3691

九州 092-451-3320

※ CADWe'11 はダイテックの登録商標です。

※ 記載されているすべての社名・製品名等はそれぞれの会社の商標または登録商標です。